

(別添)

みどりの杜病院 公的医療機関等2025プラン

平成29年 9月 策定

【みどりの杜病院の基本情報】

医療機関名：みどりの杜病院

開設主体：公立八女総合病院企業団

所在地：福岡県八女市立野362番地1

許可病床数：30床（一般）
（病床の種別）

（病床機能別）30床（慢性期）

稼働病床数：30床（一般）
（病床の種別）

（病床機能別）30床（慢性期）

診療科目：緩和ケア内科

職員数：43人

- ・ 医師 4人
- ・ 看護職員 28人
- ・ 専門職 8人
- ・ 事務職員 3人

【1. 現状と課題】

① 構想区域の現状

・地域の人口及び高齢化の推移

八女・筑後区域の総人口は減少を続け、平成 22（2010）年の 137,822 人が、平成 37（2025）年には 123,597 人（対平成 22 年▲10.3%）となり、平成 52（2040）年には 106,652 人（同▲22.6%）となると予想されている。65 歳以上の高齢者人口は平成 37（2025）年の 42,435 人をピークに減少に転じ、総人口に占める割合は増加を続け、平成 22（2010）年の 26.4%が、平成 37（2025）年には 34.3%となり、平成 52（2040）年には 37.5%となると予想。また、75 歳以上の後期高齢者人口は平成 47（2035）年の 26,171 人をピークに減少に転じ、総人口に占める割合は増加を続け、平成 22（2010）年の 14.4%が、平成 37（2025）年には 20.1%となり、平成 52（2040）年には 23.5%となると予想されている。75 歳以上の後期高齢者人口の増加に伴い死亡者数が増加していくと予想されている。また、男性、女性の平均寿命の違いから女性の後期高齢者人口が増加すると予想されている。

・地域の医療需要の推移

人口は減少していくが、高齢人口は平成 47（2035）年のピークまでは増加し、高齢者に多い疾患と多死社会に対応していく必要がある。医療需要を考える上で医療圏に特有の問題として八女東部の広大な山間部、久留米医療圏と隣接し流出の比率の高い地域と、八女、久留米、大牟田いずれの医療圏もアクセスが良い有明医療圏北部地域が含まれることを考慮する必要がある。人口、年齢、地域特性より医療需要は平成 47（2035）年までは横ばい、その後は減少していくと考えられる。

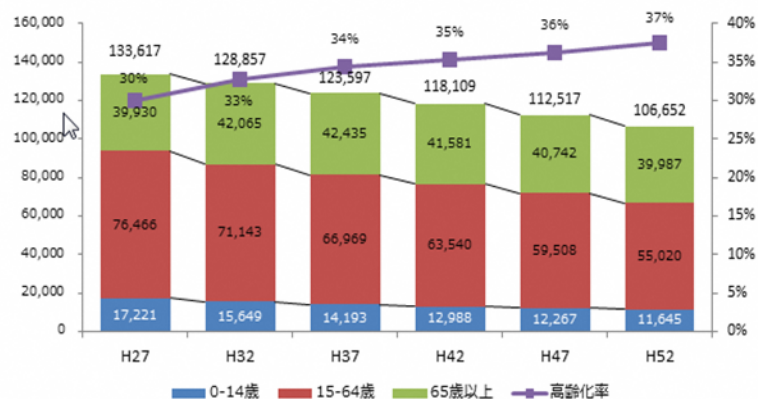
・4機能ごとの医療提供体制の特徴

高度急性期、急性期病床は時間、人、医療機器、器材などの医療資源の投入量が多い機能区分となる。八女筑後区域の現在の体制は、区域の各医療機関のこれまでの努力と調整の結果、現在はバランスが取れた状態にあると考えられる。しかし、今後の区域の現状や急性期医療の在り方の変化でどのような医療機能を、どのような規模で、どの医療機関が担うかを検討する必要がある。

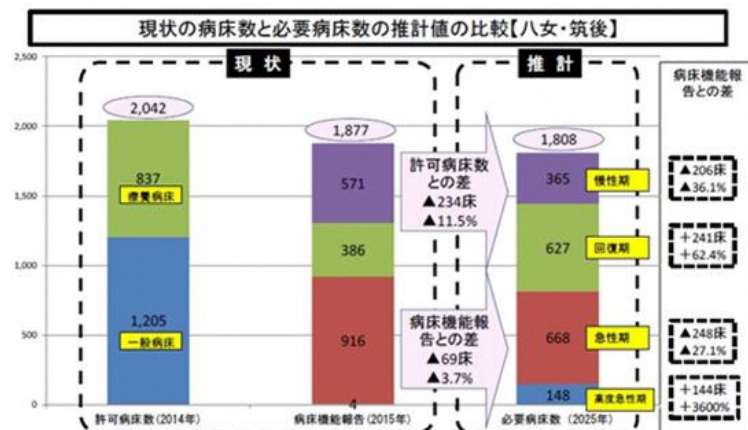
・地域の医療需給の特徴（4機能ごと/疾患ごとの地域内での完結率等）

地域医療構想にある入院医療の提供状況ではおおよそ8割が自己完結、15%が久留米区域に流出となっている。救急医療の88.4%、脳血管疾患の84.7%、虚血性心疾患の63%、悪性腫瘍の66.3%が地域内で自己完結している。

八女筑後医療圏の将来人口推計[※]



出所：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」[※]



② 構想区域の課題

医療圏の特徴の一つは医療圏が3自治体で構成されていることが上げられる。医療圏で検討すべき内容も多いが、自治体の判断や自治体間の協議が必要な事項もあり、地域医療の在り方に関しては行政と病院の意見交換が必要と考える。

当区域は農村部で所属する医師や診療科で医療内容は大きく変わる。医師の在籍、不在で診療内容も短期で変化し、疾患の完結率は大きく変化する。医師の移動で前月まで可能であった医療が対応不能となり、医療機器も活用できなくなる。安定した人材の確保は地域の医療需給の安定に繋がる。

回復期病床はさらに増床を求められている。急性期病床数と回復期病床数の過不足の比較から回復期病床の確保を検討していくことになるが、いずれの病院も経営の見通しが問題となる。

療養病床については各医療機関の特徴と今後の経営方針を参考に、また受け皿としての介護サービスの普及、充足状況をみつつ、行政が参加した実質的な検討が必要と考える。

慢性期病床及び在宅医療等の機能分化・連携については、現在の療養病床入院患者の一部について、将来、在宅医療等で対応する患者として必要病床数が推計されていることから、在宅医療、介護施設等での受け入れ能力の向上が求められる。在宅医療等の提供体制の充実や在宅医療・介護の連携強化に取り組んでいくとともに、介護サービスの充実に取り組んでいくことが必要である。

③ 自施設の現状

理念

私たちは、あなたと家族が、今という大切なときを自分らしく生きることに関わり添います。

行動方針

1. 患者や家族との関わりを、その出会いから大切にします。
2. 患者や家族の生活空間に配慮します。
3. 緩和ケアが普及し発展することを目指します。
4. 地域の方々が安心して過ごせる社会をつくれます。

診療実績（平成28年度）

届出入院基本料：緩和ケア病棟入院料（30床）

延入院患者数：9,239人

1日平均入院患者数：25.3人

病床利用率：84.37%

平均在院日数：41.4日

④ 自施設の課題

高齢化に伴いがん患者は増加しており、当院で提供する緩和ケア医療のニーズは今後も高まることが予想される。安定した医療サービスを継続して提供するためには、医師や看護師をはじめ医療スタッフの安定的な確保が必要となる。

また在宅医療についても、今後担当する医師の確保が必要である。

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～④を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

引き続き、公立八女総合病院等をはじめとした急性期病院や他の医療機関からのがん患者の受け入れを行い、八女・筑後医療圏で唯一の緩和ケア病院としての役割を果たす。
また、在宅療養支援病院として、八女東部の山間過疎地域への訪問診療にも積極的に取り組む。

② 今後持つべき病床機能

現在の30床の緩和ケア病床（慢性期）を維持する。

③ その他見直すべき点

対医業収益比率の高い給与費について、適正な人員配置を行いつつ抑制を図る。
また、委託料等の経費についても削減に努める。

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4 機能ごとの病床のあり方について

＜今後の方針＞

	現在 (平成28年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期			
回復期			
慢性期	30		30
(合計)	30		30

＜年次スケジュール＞

	取組内容	到達目標	(参考) 関連施策等
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営改善 ・ へき地医療への取組 ・ 看護教育 ・ 人材の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医業収益の確保と費用削減 ・ 山間部等への訪問診療の継続 ・ 看護教育のシステム化 ・ 看護師をはじめとした人材の確保 ・ 魅力ある職場創り 	
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営改善 ・ へき地医療への取組 ・ 看護教育 ・ 人材の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医業収益の確保と費用削減 ・ 地方独立行政法人化取組 ・ 看護教育のシステム化 ・ 看護師をはじめとした人材の確保 ・ 魅力ある職場創り 	<div>第7期 介護保険 事業計画</div> <div>第7次医療計画</div>
2019～2020 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営改善 ・ へき地医療への取組 ・ 看護教育 ・ 人材の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医業収益の確保と費用削減 ・ 地方独立行政法人化 ・ 山間部等への訪問診療の継続 ・ 看護教育のシステム化 ・ 看護師をはじめとした人材の確保 ・ 魅力ある職場創り 	
2021～2023 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営改善 ・ へき地医療への取組 ・ 看護教育 ・ 人材の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医業収益の確保と費用削減 ・ 山間部等への訪問診療の継続 ・ 看護教育のシステム化 ・ 看護師をはじめとした人材の確保 ・ 魅力ある職場創り 	<div>第8期 介護保険 事業計画</div>

② 診療科の見直しについて

検討の上、見直さない場合には、記載は不要とする。

<今後の方針>

	現在 (本プラン策定時点)		将来 (2025年度)
維持	緩和ケア内科	→	緩和ケア内科
新設		→	
廃止		→	
変更・統合		→	

③ その他の数値目標について

医療提供に関する項目

- ・ 病床稼働率：88%
- ・ 入院診療単価：43,800円

経営に関する項目*

- ・ 給与費の対医業収益比率：75.9%
- ・ 経費の対医業収益比率：13.2%

* 地域医療介護総合確保基金を活用する可能性がある場合には、記載を必須とする。

【4. その他】

(自由記載)